

山の会第六十回定期総会が四月二九日(土)に太陽プラザで開催されました。例年実施されている湯川コースの登山道整備は残雪が多くため中止、夕方からの総会だけの日程となりました。

松谷志郎さんを議長に選出、昨年度の経過報告・決算報告・監査報告、今年度の行事予定・予算が提案され、可決されました。今年は二年任期の役員改

費の督促含む)、山岳保険の  
集約など  
▼企画担当・山行等の企画  
(山行打合せ含む)、参加者の  
等の集約、登山道整備の集  
約など



左から 植原副会長、三浦副会長、青木会長、大内當任顧問

第六〇回 定期総合

四月二十九日（五）

報告編集部

発行所  
二本松市新生町  
あだたら山の会  
編集部

選期で、役員の改選が行われました。

〔企画・会計〕	佐藤幸夫 渡辺正
〔企画監査〕	三浦敏男(兼務)
品竹浩一	菅野英伸
佐藤延子	竹部雅代
佐藤夕力子	渡辺正(兼務)
菊地博幸	椎原寿明(兼務)
安部信一	
佐藤夕力子	

●編集部連絡先  
二本松市茶園1-163-3  
0243(23)4425



議長松谷さんと 新役員熱演! (青木新会長未到着)

▼広報担当…会報発行と報道機関への行事周知、ホームページ管理（最新の状態）など

▼装備担当…登山装備の調達と登山道整備等の用具・道具の調達、最新装備の紹介など

「地域と共に歩む信用金庫社会貢献賞」が、様々な分野で実践している地域貢献・社会貢動に光を当て、それをすることによって、多々に信用金庫の真摯を広くアピール」するに平成九年創設、今年十回目。全国一六九の金庫・関係団体から応があった中から、個人賞で、当会の常任顧問大さんが「安達太良山の歩道整備と安全登山普及貢献したとして受賞されました。五月十六日の県に掲載されました。

A vertical photograph of a man from the chest up. He is wearing a white hard hat and a blue zip-up jacket over a light-colored shirt. He is smiling at the camera. The background is slightly blurred, showing what appears to be a forest or outdoor setting.

5月14日の登山道整備にて、  
由典が太内さん、次頁写真を拝本

は、地区限定の協同組織金庫融機関であり、地域に密着した活動を彰している団体・個人を顕彰していくます。

大内学常任顧問  
全国信用金庫協会、社会

賞個人賞受賞  
報告 編集部

五月十四日(日)

# 湯川渓谷登山道整備

報告編集部



7時56分、恒例の 登山口集合写真

来週日曜の安達太良山開きに備えた、湯川渓谷登山道の整備作業を実施した。本来四月二十九日に予定されていたが残雪が多く延期されていたもの。五月に入つて雪解けが一挙に進み整備入山が可能となった。

当日は午前七時半に塩沢スキーリングの登山口を出発、通過支障木やばみ出した笹を排除しながら登山。天狗岩上橋からは昨日からの雨で水量の多い湯川ではあったが、徒涉カ所への架橋、アルミ橋の架け直し、既に架けられている橋の手入れを実施しながら、くろがね小屋を目指した。正午には小屋に到着。昼食休憩となつた。当時は集合時点で小雨、作業中は止んだり降つたり、下山は登山口迄小雨に降られた。

十四日の作業の結果、湯川渓谷登山道の「通行止トラロープ」は解除された。登山道は花のシーズンが始まり、至る所でシヨウジの釣鐘状の花を、三階滝分岐の下ではアツマシヤクナゲムラサキヤシオツツジの蕾が赤い色を覗かせており、山開きの頃は満開が期待される。

小雨にたたられた一日だったが会員他十七名が参加した。

本日は「超」が付く快晴の日、更に無風、二本松市の最高気温は三二、五度。当日は午前七時から運行を開始した。当日の登山者は主催者発表で昨年より五百人増の一萬三千人、当会も四十五名でパトロール隊を編成、登山者のガイド、奥岳の「あだたらロープウェイ」も午前七時から運行を開始した。当会の会員も吾妻山の会から六名がパ

五月二十一日(日)

# 第六十二回安達太良山開き

報告編集部



今日が誕生日、Sさん

6時21分、朝の打合せ



市長、Aさん、斎藤暁さん

喜寿のお祝い



当会は「超」が付く快晴の日、更に無風、二本松市の最高気温は三二、五度。奥岳の「あだたらロープウェイ」も午前七時から運行を開始した。当会の会員も吾妻山の会から六名がパトロール隊に参加した。その後になり、下山中くろがね小屋上部で怪我した人を自衛隊が小屋まで下ろし、温泉会社の車が来た林道終点までの自衛隊の搬送をサポートした。山頂では犬を連れた迷子の届け出、これも当会が無線でサポート、くろがね小屋で親子は再会した。

今年が最後の山開きと言ふ事で妻と参加する。最後とあって多くの参加者、主催である「徳ヶ森環境整備プロジェクト」の話によると「四五〇人分の記念品を用意したが足りなくなり、皆さんに迷惑をかけてしまいました」との話がありまし た。昨年は火災で中止、そして今年が最後にしたと いう事は「焼けた木々が枯れ強風で倒れる恐れが出てきた為、安全が守れなくなると考え中止する事にしました。今後は安全な場所に みんなが楽しめる場所、ふれあいの森にしたいと考えている、徳ヶ森を愛していく、運んで下さい」との話が



### 焼け焦げが目立つ木立

山、花塚山、口太山、安達太良、吾妻、信夫山、半田山、そして宮城県の青麻山（八〇〇㍍）など眺望を楽しむ事が出来ます。昼食のラーメンを作っていると伊達市内のケーブルテレビの取材を受けたなど楽しいひとときを過ごす事が出来た。だが山で自のあたりにした事は、山全体が黒く雜木林や二十㍍三十㍍くらいある杉林が、根元から四、五倍位が焼け、黒くなつて枯れ葉は無く土が剥き出しになつてしまっている。山火事の恐ろしさを感じた山行であった。一日も早い復興を願ながら応援しています。頑張って下さい「徳ヶ森環境整備プロジェクト」の皆さん。

標高三〇〇メートルくらいの山道がありましたが、西口の登山道であるが、南北どちらも三十分位で登れる山、山頂には木コラなど有り広々とした草地、トイレなどもあったが焼けてしまったらしい。目前には雲

個人山行、靈山町・徳ヶ森

報告 菅野善雄

山開き色々



## 市長・会長会員とテント山頂にて



祈願祭で玉串受け取る青木会長



怪我人搬送、負傷カ所の  
固定には空気副本



神主さんも当会がエスコート



## 吾妻山の会の皆さん

個人山行

報告 菅野善雄

新潟県  
東蒲原郡  
五頭山

五月三日高陽山山開き参  
加の為 四時四十五分出発  
する。塩川駅を過ぎ湯川村  
に入ると電話が入る。どこ  
へ行くとのこと、高陽山  
と答えると 私達新潟へ行  
くとの事、話し合い一緒さ  
せてもらう事になる。坂下  
インターで車を止め、車に  
乗せて貰うことになる。車  
の中で五頭山(ごずさん)  
に行くことを知り家に山行  
変更の電話を入れる。約二  
年くらい一緒した事のない  
会津の山友、久し振り話が  
弾む。どんなに人気のある  
山かと思ひしや 五頭山の  
山開き、駐車場は満杯、空  
きスペースを見付けて車を  
止める。受付を済ませ記録  
品を預ぎ登山口へ。東西南北  
も判らすどんな山か又時  
間はどの位なのか判らず友  
の後ろを付いて行くだけ。  
今回は旧スキー場コースか  
ら、三ノ峰分岐点まで登り、  
そこから下山、キャンプ場  
に着くいつもの定番コース  
らしい。安心して付いて行  
けると思つた。スキーコース  
の頭と思われる頃からアップ  
ダウンの尾根道。この辺か  
らイワウチワの花が登山道  
にあり、登るに従つて多く  
なつてくる。今年は雪が多  
い。五ノ峰(地蔵菩薩があ



と、ここもイワウチワの花々、急斜面を見れば雑木林の中にもイワウチワ、友が自慢するだけあって、花の山であった。五つの峰から眺望も良く、飯豊連峰はじめ磐梯山や弥彦・角田山そして海の向こうには佐渡ヶ島、登山者の中に鳥海山も見えるとの話。私には確認できなかつた。

靈峰五頭山は空海が開山し、一二〇〇年になるとの事。登山口より上り三時間下り三ノ峰より約二時間、お薦めは花の咲く五月初めが良い様である。